

試料・情報利用研究計画書(概要)						
審査委員会 受付番号	2017-1008-2	利用形態	共同研究	利用する 試料・情報	情報:性別および年齢の基本情報、健康と生活習慣調査の全項目、食事習慣調査の全項目、検体検査情報のうち血液学的検査、生化学的検査、尿検査、特定健康診査情報の全検査データ	
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	株式会社豊田中央研究所	
研究題目	高齢者における健康に関する統合情報解析			研究期間	承認日 ~ 2021年3月	
実施責任者	寶澤 篤	所属	東北メディカル・メガバンク機構		職位	教授
研究目的と意義	主に高齢者の健康と深くかかわる、食事および人間関係に関するリスク要因について調査する。特に、食事については小食に注目する。また、人間関係については健康と生活習慣調査の中から人のつながりを促進する要因を明らかにする。これらにより、健康に対する高齢者の意識づけに役立てるとともに、高齢者一人一人の特性を踏まえた個別化予防に資する。					
研究計画概要	<p>①高齢者における食事の解析 高齢者は概して小食となるため、フレイルやサルコペニア、あるいは骨折のリスクが高まる。本研究では、65歳以上の男女を対象とした横断研究により、小食と関連するリスク要因のサーベイを行う。解析は標準体重における基礎代謝基準値を算出後、各被験者につき1日総カロリー摂取量/基礎代謝基準値を導き、この値に基づき層別化し、生活習慣および食事に関する特性を比較解析する。</p> <p>②人とのつながりに関する解析 少子高齢化社会において人とのつながりは希薄になる一方である。本研究では、健康と生活習慣調査の結果から、統合情報解析により、人とのつながりと関連する要因を抽出する。それらの情報から、従来の調査票レベルの質問項目において人とのつながり度合いを示す指標を導き出すとともに人とのつながりの重要性を意識づける行動とは何かを探索する。</p>					
期待される成果	高齢者が健康を損なうリスク要因を特定することにより、適切な対策を講じるための手掛かりを得て、高齢者の健康管理に活用する。					
これまでの倫理 審査等の経過	平成29年7月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会で審査					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮						
その他特記事項						
* 公開日	令和2年6月8日					